

大岡の風5月



令和7年4月30日
横浜市立大岡小学校
TEL (711) 0818
FAX (713) 3563

「はじめの一步」

副校長 井口 さと子

新年度がスタートして、1か月が過ぎようとしています。今年度、副校長として着任しました井口と申します。大岡小学校に着任して6年目となりました。どうぞよろしくお願ひいたします。今年度の始業式・入学式は、大岡川沿いの桜が淡いピンクの花で見事に満開でした。その桜並木が、今はもう新緑に彩られています。このような季節による自然の変化を感じることができると、この大岡のまちの魅力の一つであると、つくづく感じています。

さて、満開の桜と共にスタートした新学期は、子ども達にとって「同じクラスになる友達やクラスの雰囲気はどんな感じだろう。担任の先生や教科を教えてもらう先生はどんな人だろう。」などと考え、期待と不安の気持ちから、緊張する場面も多かったのではないかと思います。そのような中で、私が出会った子ども達の姿を紹介したいと思います。

算数の授業で、ある児童が算数の問題の解決方法を上手に自分の言葉でクラス全体に説明していました。その友だちの解き方の説明を聞き、「なるほど。そうか。」と小さくつぶやく児童がいました。その子は問題の解決方法が分からず、ノートに考えを書くことができずにいたようです。説明を聞いた後すぐに、友達の考えを生かした方法で、見事に問題解決していました。

また、ある学級では自己紹介の時間でした。自己紹介をしている児童が、次に何を伝えればよいか悩んでいる様子で、しばし言葉が止まってしまいました。少しの間後、「自分の好きな教科や遊びを伝えればいいよ。」と、やさしい声のトーンで同じ班の友達が声をかけました。そのアドバイスを受けて、悩んでいる様子だったその子は、「私が好きな教科は体育です。」と、スムーズに自己紹介を進めることができました。その子のホッとした表情が印象的でした。

このように、子ども達は様々な場面で、友達から学ぶことがたくさんあります。友達の考えを聞くことで、自分では気付くことができなかつた視点や考えにたどり着いたり、自分の考えを深めたり広げたりしながら学んでいるのです。このような学びは、一人で学習しては実現することができません。学級という集団で学んでいるからこそ、実現できる学び方だと思います。

子ども達のこのような姿に触れるたび、「とも学び」という言葉が浮かんできます。私は、この「とも」には、2つの意味があるのではないかと考えています。1つ目は、友達と学び合うという意味の「友学び」。そして、もう1つは、共に学ぶという意味の「共学び」です。学びの矢印が一方ではなく、双方向であるということです。友達の解き方の説明を聞くことで学びを深めた児童はもちろん、説明をした側の児童も、自分の解き方を伝えることを通して、自分の考えを整理し、相手に分かりやすく説明する方法を学んでいます。また、友達にやさしく自己紹介のアドバイスをした児童も、そのような声かけをすることは、相手にとって助けになる関わり方なのだと思ひます。さらには、周りで見たり、聞いたりしている児童も、同様の学びを得ているのだと思ひます。

このような小さな「とも学び」の積み重ねは、新学期の緊張感漂うこの時期を乗り越えるための、「はじめの一步」を支える大きな力になると改めて感じた春でした。また、大岡小では、保護者の方々や地域の方々との「共学び」もとても多く、子ども達は様々な場面で様々な人々と関わりながら成長しているのだと、つくづく感じています。

この恵まれた環境を大切にしながら、教育活動をより良いものにしていくことを目指し、職員一同、更なる研鑽を積んでまいります。今後も大岡小学校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。